

大学院・大学・短期大学部

ジュニア夢カレッジ
～プロから学ぶお仕事体験～

子どもの頃、私たちはどんな「夢」や「憧れ」を描いていたでしょうか。その夢を叶えるべく、聖徳大学生涯学習研究所主催で、「ジュニア夢カレッジ～プロから学ぶお仕事体験」を12月5日(土)、6日(日)の2日間実施しました。この事業は、子どもと学生の二方向のキャリア教育を目的としたものであり、前身である「まつどおしごとデパート」の発展型事業です。

実施までの半年間、企画委員の学生(約15名)と生涯学習研究所のスタッフおよび公募市民団体代表者とが両輪になって協議を進めてきました。その結果、今回は、子どもたち約100人限定を対象とし、2日間じっくりお仕事体験が学べる事業展開を考案しました。



本学学生によるアイスブレイクの様子



実験キットを使って「物の冷える仕組み」を学びました
～エンジニア体験より～



元プロ野球選手 屋鋪要氏による、ボールの握り方の指導～野球選手体験より～



普段一般の人が入れない所も、見せていただきました～鉄道職員体験より～

プロから学べるお仕事体験は全20種類。学内からは「看護師」「保育士」「医師」「建築士」「アーティスト」「服飾の仕事」「パティシエ」「絵本作家」、学外からは「野球選手」「シンガーソングライター&振付師」「演奏家」「鉄道職員」「キャビンアテンダント」「エンジニア」「新聞記者」「弁護士」など、プロと学生とが共にプログラムをつくり上げました。また、体験前には、親子向けに「なぜ今働くか?」を考えるワークショップを行い、体験後には、一同が集結し、学生主導で「仕事について」のリフレクションを行いました。

本事業の特色は、今回関与したスタッフ(プロ・教職員・学生・地域)のすべてがボランティアとして活動したこと、学研(株)や新京成電鉄、伊勢丹等、多数の企業から協賛・協力をいただいたことです。子どもたちからは「仕事は大変」「緊張した」「楽しかった」など、保護者からは「喜んで帰ってきました」「貴重な体験をさせてくださり本当にありがとうございます」など、感謝の声が続々と寄せられました。諸先生方のご協力に心から感謝いたします。今後も、生涯学習研究所では、地学連携や社会参画に結びつく事業を推進していきたいと思っております。

(児童学科 准教授 齊藤 ゆか)